

## 論文誌「Journal of MMIJ」査読公正ガイドライン

一般社団法人資源・素材学会 論文誌編集委員会

査読者各位

大変お忙しい中にもかかわらず、このたびは論文誌「Journal of MMIJ」への投稿原稿の査読をお引き受けいただきまして、深く御礼申し上げます。皆様の公正な査読により、論文誌の質が保たれ、質と評価がより一層高い論文誌へと発展していきます。そのため、原稿の査読と評価に先立ち、ご注意いただきたい点を以下に列記いたしますので、ご高覧いただき、原稿の公正な査読にご協力いただけますようお願い申し上げます。

1. **著者との中立的立場の徹底**：著者と利害関係がないことを注意深く確認して下さい。利害関係とは、例えば共同研究者、師弟関係、同級生や研究室同窓生などの個人的な繋がり、親族などです。利害関係に疑義がある場合には、速やかに編集幹事に連絡して下さい。明らかに利害関係がある場合には査読をお断り下さい。
2. **専門との整合性**：査読を引き受けたものの、原稿に目を通されて、ご自分の専門とは懸け離れていることがわかり、適切な査読意見を述べられないと判断された場合には、速やかに編集幹事に連絡して下さい。
3. **守秘義務の徹底**：査読者の氏名、査読結果は他者に口外しないように注意して下さい。また、査読を引き受けられた原稿の内容を一部でも他者に漏らすことのないように守秘義務の徹底をお願いします。
4. **論文不正阻止の徹底**：盗用、捏造、改竄の疑いをもたれる原稿を当論文誌に掲載してしまうことは、当学会の信用を大きく低下させます。原稿の掲載決定は論文誌編集委員会の責任で行いますが、不正論文が誤って掲載されませんよう、不正防止にご協力をお願いします。原稿の内容が既に公刊された出版物とほぼ同一であると疑われる場合、およびデータや図表等に捏造や改竄が疑われる場合、あるいはこれらの不正行為のいずれかが決定的な場合には、速やかに編集幹事に報告して下さい。
5. **引用文献漏れ防止の協力**：原稿内容に関連した先行研究を適切に引用することは紛れもなく著者の責任ですが、この漏れ防止に無理のない範囲でご協力をお願いいたします。
6. **人権保護と法令等の遵守への協力**：原稿に配慮を必要とする個人情報、あるいは遺伝子組換え実験などで倫理委員会等における承認手続が必要となる内容が含まれていれば、適切な手続きがなされていることを示す記述があるかどうかを確認して下さい。
7. **オリジナリティ保持の徹底**：査読された原稿の内容を、その原稿が受理されて当論文誌、あるいは却下された等で他誌に出版されるまで、ご自分の研究のために一切利用しないで下さい。原稿を印刷された場合、他者の目に触れることのないように十分注意して、保管あるいは廃棄して下さい。

なお、4、5、6に関しまして、原稿内容の最終責任は著者にありますので、何か問題が生じた場合、査読者に責任が及ぶことはありません。

2020年12月21日制定